

看護技術論	1年・前期	1単位	教授 箕輪 千佳
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110541

### 1. 授業のねらい・概要

「看護共通技術」の基礎知識に相当する科目であり、どの領域にも共通に適用される技術についての基礎知識、援助の目的や方法および技術の根拠について学習する。また、看護提供者としての基本的な身だしなみや態度について考える機会とする。

### 2. 到達目標

1. 対象となる人々に行われる看護技術の特徴が理解できる。
2. 保健師助産師看護師法における看護技術の範囲が理解できる。
3. 援助技術の科学的根拠が理解できる。
4. 看護提供者として必要な基本的な身だしなみや態度について考えることができる。

### 3. 授業の進め方

講義形式で進めるが、適宜グループ学習や学生による課題発表を取り入れる。

### 4. 授業計画（演習）

1. 技術とは何か，看護技術の根底をなすもの
2. 活動・休息の援助技術（ボディメカニクス・体位変換）
3. 病室の環境のアセスメントとベッド周囲の環境調整
4. 苦痛の緩和・安楽確保の技術（体位保持・電法）
5. 看護の対象と関係構築のためのコミュニケーション
6. プロセスレコードから学ぶ看護場面でのかかわり方
7. 活動・休息の援助技術（移送・移乗）
8. 死後の処置，筆記試験（45分）

### 5. 成績評価の方法・基準

定期試験 80%，提出物 20%により総合的に評価する。

### 6. テキスト・参考文献

- ・茂野香おる（2021）：系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術Ⅰ，医学書院
- ・茂野香おる（2021）：系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院
- ・高橋清美（2019）：看護コミュニケーション，へるす出版

### 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定の範囲について最低1時間の予習および授業内容の復習を行うこと。

### 8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

提出物は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。  
試験については実施の際に解答などを説明する。

**10. 卒業認定・学位授与などの方針と当該科目との関連**

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

**11. 実務経験のある教員等による授業科目**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，演習の指導を行う。